

総合計画全体について

市の考え方の後ろの()書きは、回答した担当部を記しています。

No	意見の内容	市の考え方
計画全体について		
1	全体的によくまとまっていて、とても良い計画だと思う。	計画全体の基本的な考え方について、ご理解をいただいたものと受け止めています。基本構想、基本計画の策定後に具体的な事業を盛り込んだ実施計画の策定を行っていきます。(企画部)
2	目標の方向性は非常によい。	
3	計画の内容はよい。	
4	市民ニーズについても、必ずどこかに当てはまるようになっている計画と思う。	
5	計画としては素晴らしい。	
6	大変立派な計画で感心した。	
7	健康都市への計画については非常に素晴らしい。	
8	方向性には賛成。	
9	方向性は良い。全体的にも良くできている。	
10	市民の健康の維持増進をメインテーマにする計画は賛成だ。	
具体的な取り組みについて		
11	具体的な取り組みや成果が見える計画となるとよい。机上の空論にならないように。	具体的な取り組みについては、基本計画の趣旨に則って、今後策定する実施計画で明確にしていきます。策定にあたっては、他市の先進事例等も参考としつつ、今回いただいた市民意見を踏まえていきます。そして、取り組みの成果については、基本計画に掲げた「成果を計る指標」により確認することを基本として、施策や事務事業の見直しを行うことにより、計画の実効性を高めていきたいと考えています。(企画部)
12	計画が計画のみに終わらないようにしてほしい。	
13	十分成果のあるものにしてほしい。	
14	「健康」と言えば聞こえはいいが、中身がよく伝わってこない。	
15	市長は声は大きいですが、具体的な取り組みが見えてこない。	
16	具体的な施策が見えない。	
17	具体的な施策がないので理解しにくい。	

No	意見の内容	市の考え方
18	理想は分かるが、具体的な政策が分からないと現実性がない。	
19	具体的な施策が見えない。	
20	計画の実効性のあるものとするための仕組みづくりが重要である。	
21	計画の進行を現行の行政運営が阻んでいる課題をいかに具体的に是正するかが問題である。ぜひ、全体計画と細部の施策が整合するようにしてほしい。	
22	計画を推進する案を示していただきたい。	
23	総花的に網羅されているが、要はこれらの事項をどのような形で実施部門に伝達して実行させるかが問題である。	
24	机上の空論にならないように、より具体的な活動計画を展開されるように望みます。	
25	せっかくの計画なので、何か一つでも実現化させてほしい。	
26	各課題についての具体的な取組内容を深めて欲しい。	
27	長野県は医療費の少ない県で有名である。健康創造都市を推進するために先進事例を参考にして具体的な取組を行って欲しい。	
魅力のあるまちづくりについて		
28	拠点づくりとしてのまちづくりではなく、全体として魅力のあるまちをつくってほしい。	住んでいて良かったと思えるまち、住み続けたいまちの実現には、7つの基本目標の達成に向けた取り組みを進め、大和市が抱える課題を克服していくことが必要と考えています。(企画部)
29	この街に住んでいて良かったと思えるような大和市らしい総合計画にして欲しい。	
30	他に恥じない都市を作ってほしい。	
厳しい財政状況と計画について		
31	金がない。税収の伸びが見込めない中で、理想像はわかるが現実と乖離しているのではないか。	近年、市民の日常生活の中で様々な不安が増大しており、こうした不安に対処していくためには、より多くの市民の声を聴き、様々な政策を早急に見直すことが必要と考えています。そのための財源については、公平な費用負担の確保や収納率の向上に努めるとともに、これまで以上に施策の選択と集中を図りながら、確保してまいります。(企画部)
32	出来ないことは書くな。	

No	意見の内容	市の考え方
将来都市像について		
33	単なる健康都市ではなく、「創造」が入ったのはとても良いと思う。	<p>大和市が目指す健康創造都市は、「人」の身体と心の健康はもちろんのこと、人々の生活を支える場としての「まち」、人と人とのつながりで形成される「社会」も健康にし、市民が健康と幸せな生活を実感できる都市を創り上げていこうというものです。</p> <p>健康創造都市の実現に向けては、行政と市民、大和市で活動する団体などが主体的に健康創造に関わり、全市的な取り組みを進めていくことが必要であると考えています。</p> <p>今後は、計画に基づいて健康創造都市づくり推進のための様々な取り組みを展開し、全市的な気運を高めていきたいと考えています。(企画部)</p>
34	狭い意味での健康ととられないよう広くPRしていくことが必要。	
35	市民一人ひとりが自主性をもち、向上することで、健康都市をつくる。	
36	人、まち、社会が一体となるよう、行政だけでなく、地域も参加する体制づくりが必要である。	
37	素晴らしい計画だと思う。実現のために、子どもからお年寄りまで様々な意見を聞いて、企業などにも協力を要請したらよい。	
38	健康で住み良いまちづくりを特に留意して欲しい。	
39	健康創造運動のすすめ方、展開の仕方を考えるべき。これらを具体化する市民協働の研究チームをつくるべき。	
計画期間について		
40	50年、100年先を見据えた長期的な視点で計画を考えて欲しい。	<p>将来を見据え、長期的な視点に立って政策を形成し、実行していくことは大変重要であると認識しております。しかし、近年の社会経済状況の急激な変化に迅速、かつ柔軟に対応していくためには、できるだけ現実性を重視して総合計画の期間を設定することが必要であると考え、基本構想の期間は10年、基本計画は5年としています。(企画部)</p>
41	構想期間10年は長い。もっと短期間で評価をすべきではないか。	<p>総合計画は、ある程度将来を見通すことが必要と考え、基本構想の期間を10年としています。時代の変化が激しい中で総合計画を現実性のあるものとしていくためには、成果を確認しながら、必要に応じて計画を見直ししていく必要があると考えています。新たな総合計画では3年後の中間目標値と基本計画が満了する5年後の目標値を定め、成果の評価を行い、施策レベルの見直しを行うことを考えています。(企画部)</p>
42	世界的に見れば、状況は短期で変わることが多い。長期の計画も必要だが、社会情勢と合わなくなる可能性がある。	
43	計画期間が長すぎると思う。	
44	実施計画のローリングについて、分かりにくかったが説明を聞いてよく分かった。	<p>ローリングとは、財政見直しや事業の進捗などにより毎年度計画を点検し、修正していく方法です。第8次総合計画では、財政状況や社会情勢の変化、行政評価の結果を踏まえ、具体的な事業を定めている実施計画のレベルで毎年度見直しを行い、より具体的で実効性のある計画としていきます。(企画部)</p>

No	意見の内容	市の考え方
健康領域について		
45	人、まち、社会は気に入った。	大和市が目指す健康創造都市は、「人」、「まち」、「社会」を健康にし、市民が健康と幸せな生活を実感できる都市を創り上げていこうというものです。 さらに基本構想では、この3つの健康を実現するために7つの基本目標を示し、行政と市民、大和市で活動する団体などの協力のもとに、まちづくりを進めていきたいと考えています。(企画部)
46	健康な人、まち、社会は大切なこと。実現に向けて最大限の努力をお願いしたい。	
47	健康創造都市に向けては、社会の健康が大切。それは人づくりから。	市民が様々な活動に参加しやすい環境と多様な考え方や生き方を認め合う温かな人間関係を築き、社会を健康にするとともに市民の豊かな心を育むための取り組みを進めていきたいと考えています。(企画部)
48	心豊かな生活を送るためには趣味を持たないといけない。地域活動に積極的に参加することも必要で社会の健康は重要と思う。	
49	すべて「健康」に置き換えて考えていることについては、やはり分かりにくい。	ご意見のとおり、「まちの健康」、「社会の健康」という言葉だけでは、内容が伝わりにくい面もあるため、基本構想の中で、3つの健康領域として説明を加えていきます。(企画部)
50	まちの健康、社会の健康という表現は一般的ではなく分かりにくい。	
51	すべての施策を健康というキーワードでくることには無理があると思う。	
52	まち、社会の健康というのは、もう少し練りこんだ方が良いと思う。	